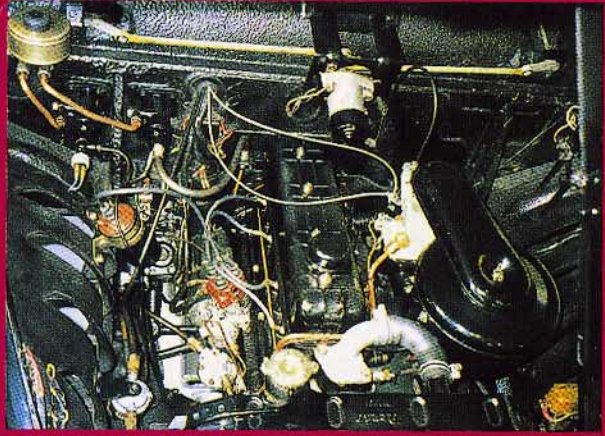


# 時代を画した技術の変遷

—日本の自動車技術50年—

1950's



1990's

- Part1.** 技術が光る、心に残る名車100選
- Part2.** 世界に誇る日本のクルマ技術
- Part3.** トレンディピックス“環境”“安全”“ITS”



(社)自動車技術会中部支部

## 【目次】

### Part1

技術が光る、心に残る名車100選 P.2

### Part2

世界に誇る日本のクルマ技術 P.24

### Part3

トレンドピックアップ“環境”“安全”“ITS” P.32

## PART.1

## 技術が光る、心に残る

# 名車100選

優れた性能と量産品質を誇る日本の自動車。この半世紀の間に国を支える基幹産業へと大躍進を遂げた日本の自動車産業の歴史は、熱き想いを知恵と勇気で実践して来た技術者の歴史そのものである。

PART1では光る技術を凝縮した車両の移り変わりを、時代の流れに沿って振り返ってみる。

- 1.戦前 ( ~1944) P.2
- 2.戦後の復興期 (1945~1959) P.4
- 3.モータリゼーション期 (1960~1969) P.8
- 4.実力伸長期 (1970~1979) P.12
- 5.多様化・高度化時代 (1980~1989) P.16
- 6.環境・情報化時代 (1990~ ) P.20

[表紙写真] 上:初代クラウン、下:最新セルシオのエンジンルーム

本別冊は、(社)自動車工業振興会、中日新聞社、松下電器産業(株)、トヨタ博物館、カーメーカー、部品メーカーなどから写真、資料をご提供いただき編集したものです。

## 1.戦前(～1944)

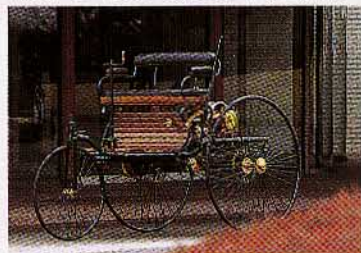
### 欧米の先進技術を学ぶ

#### 時代背景

- 1894～95 日清戦争
- 1897 日本機械学会創立
- 1898 日本へ自動車伝来
- 1900 パリ万博エッフェル塔

#### 欧米技術

- 1769 蒸気3輪自動車(キュニョー)
- 1781 蒸気機関(ワット)
- 1855 ピストンリング
- 1859 蓄電池
- 1873 電気自動車(ダビッドソン)
- 1876 4サイクル機関 オットー(独)
- 1880 ウィッシュボーンサスペンション
- 1885 スーパーチャージャー特許(タイムラー)
- 1886 タイムラーガンソリン1号車(4輪)



- 1886 ベンツガンソリン1号車(3輪)  
摩擦クラッチ(タイムラー)
- 1891 ラックピニオンステアリング(ベンツ)
- 1893 ドデオンサスペンション
- 1894 OHV(ベルノルディ:伊)
- 1895 ストラットサスペンション  
ディーゼルエンジン(ディーゼル)
- 1896 オイルフィルタ
- 1898 OHC(ポップスミス)  
ルノー、オベル1号車  
フナタリギヤ式変速機(ランチェスタ)  
空気入りゴムタイヤ(グッドイヤー)
- 1899 量産OHV(ビュイック)  
アクセルペダル(タイムラー)  
フィアット1号車  
前輪独立懸架(シゼール)
- 1901 流れ作業(オールズモビル)
- 1902 ウォータポンプ(ブジョー)  
高圧マグネット点火装置(ボッシュ)  
ハイブリット車(ボルシェ)
- 1903 SOHC(メルセデス、フィアット)  
フルタイム4WD(スパイカー)  
スピードメータ(オールズモビル)  
ショックアブソーバ(オールズモビル)
- 1905 ターボチャージャー特許  
円板式CVT(カータ)  
デフ
- 1906 フロントバンパ(オールズモビル)  
ディスクブレーキ(ダラック)



- 1908 T型フォード(発売開始)  
(写真は1909年モデル)